

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	05	まちづくり推進実践活動事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		花井・福本	63356	

事業の概要

事業の概要		区民が自分の住む地域に興味や愛着を持てるよう、地域団体等と協働・連携し、区の魅力の発信や、地域団体等の発展に繋がる事業を展開します。							
		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業				
実施期間		—	—						
地域の課題と現状		地域活動へ参加していない区民の割合が多く、地域活動に関わらず趣味の活動や地域の活動が広がり、区の魅力を発信する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	900	182	900	228	900	781		
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
財源内訳	一般財源	900	182	900	228	900	781		

計画 (Plan)

事業の目的	区民が自分の住む地域に興味や愛着を持てるよう、地域団体等と協働・連携し、区の魅力の発信や地域活動等の支援に繋がる事業を実施します。
今年度の事業の取組内容	●地域活動等を始めたり、活動の幅が広がる支援となるような事業を実施します。 ●幅広い世代に向けて、区の魅力を分かりやすく発信するための事業を実施します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	●地域の活動等を始めたい人に向け、地域コミュニティに関する活動や、自身に合った形で楽しみながら地域コミュニティに関わる人々を紹介する講座を開催しました。 ●地域活動等に関心のある人が活動を始めるきっかけとなり、すでに活動を行っている人の幅が広がるような冊子・WEBサイト(kikkake)を作成しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	地域活動等啓発冊子の作成	目標	1	1	1		回
				実績	1	1	1		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、まちづくり推進委員会の活動が終了となった。今後は地域活動等を始めたい人の支援となり、区の魅力を発信できるような事業が必要となります。			
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 3 年度 □ 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、令和4年3月にまちづくり推進委員会の活動を終了。			
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多様な価値観を前提とした、新たなコミュニティを構築する支援が必要であり、ニーズは高いと考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	本事業を元に、地域活動等の支援に繋がったと考えられます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業の手法の工夫により、年度によっては経費の削減が可能なので、柔軟に事業を進めます。		

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	既存の枠組みに捉われず、柔軟な発想で効率的な事業の展開を行います。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	15	市民活動活性化事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		花井・福本	63356	

事業の概要

事業の概要		市民活動団体の活動支援のため、中原区役所5階に設置している中原区民交流センターを、市民活動団体との協働により運営します。また、市民活動の活性化のため、市民活動団体と区民との交流や活動の周知、団体間の交流を推進する機会を創出します。							
実施期間	事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業			
	—		—						
地域の課題と現状		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人とのつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,251	2,005	2,051	2,047	2,051	2,016		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	2,251	2,005	2,051	2,047	2,051	2,016		

計画 (Plan)

事業の目的	中原区役所5階に設置している中原区民交流センターを市民活動団体との協働により運営することで、市民活動団体の活動を支援します。また、市民活動団体と区民との交流や活動の周知、団体間の交流を推進する機会を創出することで、市民活動の活性化を推進します。
今年度の事業の取組内容	●中原区民交流センター「なかはらっぱ」の団体による自主的な運営の推進 ●なかはら市民活動の集い「なかはらっぱ祭り」の開催

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	・中原区民交流センター「なかはらっぱ」の運営支援。 ・市民活動の集い「なかはらっぱ祭り」は、中原市民館・グランツリー武蔵小杉での2会場による同時開催とし、来場者が各会場を回遊できるようにしました。活動紹介のパネル展示、ワークショップ、ステージプログラムを実施しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	中原市民活動の集い「なかはらっぱ祭り」の開催	目標	1	1	1		
				実績	1	1	1		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		区民がこれからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めていくため、市民活動団体と区民との交流や活動の周知、団体間の交流を推進する機会を創出していくことが必要です。					
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		中原区民交流センター利用者の会に委託料として支出していたが、特命随契で委託する事業手法の精査を行った結果、本市の会計ルールに基づき直営での経費支出を行い、競争性、透明性、公平性を確保することで、より適正な手続きで執行します。具体的には、これまで委託している経費内訳から、直営により費目を細分化し設定します。					
評価項目						評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由					市民自治の実現や市民活動の活性化へのニーズは依然として高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由					区内の市民活動団体の活動は、なかはらっぱ祭りの開催や中原区民交流センターの活用を通じて活性化しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由					自主運営の推進に向けた取組の検討が必要と考えます。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区内の市民活動や地域コミュニティの活性化を促進するため、区民の交流の場を提供することにより本事業を実施していくことが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	20	中原区広報・広聴推進事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651650		まちづくり推進部企画課		和田	63122	

事業の概要									
事業の概要		・区ホームページについて、最新情報やニーズが高い情報へのアクセス、多様な情報の受け手に配慮したページ作成を行います。 ・地域メディアと区役所各課広報担当者との意見交換会等の実施により、職員の知識や意識を向上させ、積極的な広報活動を推進します。 ・地域メディアとの連携により、あらゆる媒体を活用した包括的な広報を行い、区の魅力情報や行政情報を効率的、効果的に発信することで、区民の地域に対する愛着心の醸成や、区のイメージ向上を図ります。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		—		—					
地域の課題と現状		毎年約2万人の転入があるなど人口が増加する中、区の現況や区民のニーズを的確に把握し、必要とされる情報や魅力情報を効果的に発信することで、地域コミュニティの活性化を推進していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4,311	4,340	2,890	2,837	4,370	3,528		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	4,311	4,340	2,890	2,837	4,340	3,528		

計画 (Plan)	
事業の目的	区民に必要とされる情報や魅力情報を効果的に発信することで、地域コミュニティの活性化を推進します。
今年度の事業の取組内容	地域メディアとの連携や地域資源を活用したイベントごとの包括的かつ効果的な情報発信の実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・地域メディアを活用した区の広報番組の情報発信のほか、区内JR各駅や区内各所に設置する情報コーナーへの市政だよりや地域メディアの広報紙の定期的な配架 ・区民アンケートを実施							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	なかはらメディアネットワーク(NMN)と連携した地域情報の発信件数	目標		42	42		回
				実績		47	46		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化		・インターネットの普及に伴い、区ホームページ等のアクセシビリティ向上が求められています。 ・人口の増加により、区民のニーズが多様化してきています。							
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)							
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載									
評価項目									
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか						a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由		人口が増加し、区民のニーズが多様化する中、地域の様々な情報をあらゆる手法を用いて発信し、届けることで、地域情報の浸透による地域愛の醸成や、新住民への情報提供につながっており、必要性があるものと考えています。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか						a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由		中原区役所チャンネル(YouTube)の登録者数が徐々に増加するなど、一定の効果があつたと考えられます。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。						a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由		取組内容等を踏まえて、効率的・効果的な広報手法を検討しながら、適正な予算執行や事務効率改善を進めていきます。						

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	事業の目的や方向性は維持し、区民のニーズの動向把握に努めながら、地域メディア同士の連携も誘導するなど、広報手法等に工夫を凝らしたターゲットを意識した情報発信を実施します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	25	商店街と連携した地域のまちづくり推進事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		伊藤	63353	

事業の概要

事業の概要		商店街を地域の情報交換や交流の場として活用し、地域の活性化に向けた取組を推進します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		平成20年度		—					
地域の課題と現状		中原区では、人口が増加する一方で、コミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組を通じて世代や地域間の交流機会を提供し、地域を活性化していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	600	592	600	373	600	443		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	600	592	600	373	600	443		

計画 (Plan)

事業の目的	中原区の状況を踏まえ、商店街を地域の情報交換や交流等の場としてとらえ、商店街の店舗を活用した各種教室や交流イベントを実施し、区民の交流機会の創出を図ります。
今年度の事業の取組内容	商店街の店舗を活用した各種教室及び地域交流イベントの実施

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	・商店街の店舗を活用した各種教室及び地域交流イベントを計7回実施しました。 ・参加者数を増やすために、会場が狭い場合は複数回数行ったり、町内会館や総合自治会館など広い場所を使用するなどの工夫を行いました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	各種教室及び地域交流イベントの開催	目標	7	7	7		回	
				実績	7	6	7			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
実績										

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		コミュニティ支援や地域包括ケアシステムの着実な推進に向けて、地域住民が主役になった地域での自助・互助の取り組みを促進するために、商店街を活用した地域の活性化を推進することが求められています。							
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) ☐ 年度 ☒ 今後実施 (7 年度から)							
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		より多くの市民が参加することで地域の活性化につながるよう、中原区商店街連合会が実施しているイベントと連携し、相互に参加者数を増やし、かつ単発で終わらせずコミュニティ形成が図れるような開催方法や実施内容を検討していきます。							
評価項目									
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか						a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由		定員を超える募集人数があったことから、参加する市民・商店街とともに地域の活性化に向けた事業のニーズは高いと考えられます。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか						a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由		参加者にあまり馴染みのなかった商店街や各店舗と参加区民との交流が得られたこと、異なる地域に住む区民同士で交流していただく機会を設けることができたことなど、参加者にも満足いただける事業を開催することができました。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。						a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由		課題である募集人数を増やす取組について、収容人数の多い会場の用意や開催回数を増やすなど、区民ニーズに合った開催手法を検討していきます。						

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地域コミュニティの活性化に貢献できる取組であるため、募集人員数の増加や、テーマ性を持った教室事業の開催など、改善したうえで引き継続することが適切であると考えます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
11	01	04	26	05	35	小杉駅周辺の新たなコミュニティ推進事業費		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課		桃園	63363

事業の概要

事業の概要		武蔵小杉駅周辺の再開発に伴うコミュニティ形成などの課題に対し、協働による講座や企画の実施、課題の抽出・解決策の実施等を行うプロジェクトの実施、公共的空間の活用事業等により、街の変化に合う仕組みや公共的空間のコミュニティ形成への活用に関する取組を推進します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域コミュニティ活性化事業		
		—		—					
地域の課題と現状		武蔵小杉駅周辺地域では、再開発により居住者が短期間で大幅に増加するなど街が大きく変貌しました。地域の担い手不足等に伴う既存のコミュニティ組織の継続の課題など、この地域にあったコミュニティについて考える必要があります。また、企業等による地域貢献や地域の魅力創出の動きがあるため、協働連携して取り組むことで地域の価値向上につなげる必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	5091	3610	4,320	252	4,320	2,561		
	国庫支出金	2400	2400	1,200	0	1,200	814		
	市債								
	その他特財								
	一般財源	2691	1210	3,120	252	3,120	1,747		

計画 (Plan)	
事業の目的	武蔵小杉駅周辺地域の住民、企業等を対象としたコミュニティ形成支援の取組を行います。
今年度の事業の取組内容	本地域のコミュニティの課題解決に向けた取組の実施、地域の居場所づくりや魅力づくりをテーマとしたプロジェクトの実施、公共空間の活用に関する取組の実施。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・商業施設と連携した武蔵小杉を題材にしたお絵かきコンテスト、公共的空間を活用した子ども向け外遊びイベントの開催。 ・小杉駅周辺の地域課題やコミュニティ形成に関する検討会議の開催（コスギコミュニティ推進会議の開催：1回、武蔵小杉エリアプラットフォーム全体会への参加：1回）、本地域のコミュニティの課題解決に向けた取組の実施、公開空地を活用した地域の居場所づくりをテーマとしたイベントの実施、公共的空間の活用に関する取組への支援（こすぎコアパークを活用した社会実験など）等								
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1			目標					
					実績					
		2			目標					
					実績					
		3			目標					
					実績					
		4			目標					
					実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く 社会環境の変化		地域の担い手不足等に伴う町内会の解散やコミュニティ組織の体制再構築などにより、地域のつながりを維持することが難しいため、地域のコミュニティ形成に向けた支援は重要性を増しています。また、川崎市においても、「公園等における協働の取組」の推進や「道路空間活用基本方針」が策定されるなど、公共的空間の活用を推進しており、コミュニティ形成の場として地域における居場所づくりや居心地よく暮らしやすいまちなか空間の創出がより一層重要になっています。						
事業の見直し・改善内容		■ 実施	(直近)	2	年度	□ 今後実施(	年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		公共空間を活用し街のにぎわいを創出するための社会実験等を行う事業について国庫補助を活用しています。						
評価項目								
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか						a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の担い手不足等に伴う町内会の解散やコミュニティ組織の体制再構築など、コミュニティの在り方が変化している状況の中、地域コミュニティ形成支援に向けた取り組みや地域の愛着形成に向けた取組は、重要性を増しています。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか						a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域で活躍する人材との連携が進んでおり成果が上がっています。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。						a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	既に事務改善等を実施し、効率的効果的な事業を実施しています。						

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了		Ⅱ 当地域は再開発等でまちが変化しており、地域の担い手不足等に伴う町内会の解散やコミュニティ組織の体制再構築など、変化に合わせたコミュニティの仕組みや形成への支援を行う必要があるため、今後も効率的かつ効果的に事業が進められるよう事業の執行方法を柔軟に見直し改善しながら進めていきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	45	区民祭開催経費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651600		まちづくり推進部総務課			藤成	63112

事業の概要										
事業の概要		「心のふれあう ふるさと中原」をテーマに、地域団体等から成る実行委員会が中原区民祭を開催し、区民相互のふれあいの深まりを目指します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
		昭和54年度		—						
地域の課題と現状		区では武蔵小杉を中心とした再開発が進み転入者が増加しており、以前からの地域住民と新しく中原区民となった住民の交流の場の創出や、それによる地域コミュニティの活性化が課題となっています。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	815	815	236	236	236	236		
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	815	815	236	236	236	236		

計画 (Plan)	
事業の目的	区民祭を通して、区民同士がふれあい、交流することを目指します。
今年度の事業の取組内容	実行委員会・専門部会により企画検討し、実施規模の見直し等を行いながら、中原区民祭を開催します。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	令和6年10月20日(日)に等々力緑地において中原区民祭を開催し、ほぼ予定通りの来場者数でした。また、今年度は全国都市緑化かわさきフェアとの同時開催であったため、来場者の方により楽しんでもらえるイベントになりました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	中原区民祭の開催（来場者）	目標	40,000	30,000	30,000		人	
				実績	21,000	3,000	28,000			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く 社会環境の変化		区への転入増が続き新たに住民となった方々が増える中、地域を知る機会を創出することで地元への愛着意識を醸成するとともに、区民同士のふれあいの場をつくることによるコミュニティへの参加促進が求められています。 R7年度は会場の等々力緑地再編整備により、会場レイアウト及び駐輪場、駐車場の仕様変更が必要となります。	
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近)	☐ 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内最大のイベントとして定着しており、多くの住民にとって交流の場、地域を知る場となっていることから、地域コミュニティの活性化及び区民相互のふれあいの場としてのニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	出店・展示等の申込みも多くあったため、今後も更なる集客増が見込めます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	会場設営等に係る仕様の見直し等により、経費削減に努めます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	経費削減や事務手続きの見直しを進めながら、事業の目的や方向性を維持して継続していくことが適切であると考えられます。 また、等々力再編整備の関係で、令和8年度以降等々力緑地が使用できないので、会場についても検討する必要があります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
11	01	04	26	10	15	中原区安全・安心まちづくり推進事業費		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			650000		危機管理担当		岩佐	63355

事業の概要

事業の概要		区民、地域団体、行政機関などが連携し、安全マップづくり、防犯パトロール講座の実施、パトロール用品の貸与等により、自主防犯活動の活性化、地域の防犯力及び意識の向上を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心まちづくり事業		
		—		—						
地域の課題と現状		日々の社会情勢が変化するとともに、各種犯罪手口も変化しており、地域の安全確保に向けて地域住民、関係団体、事業者、消防及び行政等が連携して啓発活動に取り組むなど、地域全体での活動を推進し、安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域で発生する各種犯罪(自転車盗、空き巣、ひったくり等)に区民が巻き込まれることなく、安全で安心して暮らすことができるまちづくりの推進を、地域を見守る目を増やすこと等により図ります。
今年度の事業の取組内容	防犯キャンペーン、見守り活動、子どもを対象とした安全マップづくり、中原区わんわんパトロール隊登録推進、防犯パトロール実践講座等の実施を行います。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・防犯キャンペーン、見守り活動の実施（20回）・安全マップづくりの実施（7回）・防犯パトロール実践講座（3回）※実施回数が目標より少なくなっていますが、3回中1回を6町会合同で開催するなどして効率的に行い全8町会に実施。 以上の取組内容の実績より、地域で行う防犯キャンペーン等の実施に積極的に参加協力したことや、安全マップづくりを目標回数を上回って実施したことにより、事業目的を一定程度達成したと考えられます。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	防犯パトロール実践講座	目標	5	5	5		回
				実績	3	3	3		
	2	活動指標	安全マップづくり	目標	5	5	5	回	
				実績	4	6	7		
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価（Check）

事業を取り巻く社会環境の変化		中原区内におけるR6年中の犯罪件数の傾向としては、主に自転車盗難件数と特殊詐欺被害件数が増えている状況にありますので、今後も継続的かつ柔軟な防犯対策が必要と考えられます。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施（直近）3年度 □ 今後実施（年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		中原区職員における、青色防犯パトロールの実施強化済。（実施可能職員：50人増。実施可能車両2台→15台）		

評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	R4年度区民アンケートの力を入れて欲しい区役所の業務において上位に防犯対策が入っており、またR6年度中原区内の犯罪総件数が前年比増となる状況もあるので、依然ニーズは高いものと考えられます。		
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	防犯パトロール実践講座の実施回数は3回になっていますが、3回のうち1回が6町会合同で開催しており、受講者の増加につながっています。また、安全マップづくりの実施回数が目標を上回ったことにより、一定の効果は保持できたと考えられます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託業者の中原区安全・安心まちづくり地域推進協議会と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていきます。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	社会状況の変化や、犯罪種別・特殊詐欺等の新たな種類の犯罪に対応した防犯対策が必要であり、事業の目的や方向性は維持するものの、見直し・改善の上、対策を継続することが適切であると考えます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	10	中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			熊谷	63362

事業の概要										
事業の概要		避難所、給水拠点、帰宅困難者一時滞在施設などの災害時に必要な情報や、生活に有用な様々な情報を掲載した「中原区ガイドマップ」を作成し転入者を中心に地域住民に配布することで、安全・安心のまちづくりの推進と区民生活の利便性向上を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	安全・安心まちづくり事業			
		—		—						
地域の課題と現状		近年の災害状況等から、特に災害時への備えに関する情報について多くの市民が関心を寄せており、地域の安全確保に向けた避難所などの防災情報と公共施設をはじめとした地域情報を広く区民に周知する必要があります。 また高齢化など社会状況や生活様式等が多様化する中、様々な媒体により情報を発信することが求められており、紙媒体による配布物も必要な状況です。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	910	858	990	968	990	924		
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財	279	280	287	280	287	270		
	一般財源	631	578	703	688	703	654			

計画 (Plan)	
事業の目的	最新の防災情報や行政情報などを的確かつ速やかに容易に把握できる「中原区ガイドマップ」を作成の上、配布することで、安全・安心のまちづくりを推進し、区民生活の利便性の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	最新の情報を掲載したガイドマップを作成し、区役所区民課窓口にて転入者に配布するとともに、区内外の公共施設等に配架して地域住民等に広く配布します。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	区ガイドマップを25,000部作成。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	「中原区ガイドマップ」の作成	目標	25,000	25,000	25,000		部
				実績	25,000	25,000	25,000		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		災害時の安全・安心には多くの区民が関心を抱いており、社会状況が多様化していく中で地域の安全確保に向け、防災情報や公共施設の基本情報を周知していくことは喫緊の課題であり、また、コロナ禍を経て生活様式が変化したことにより地元生活圏内への関心がより高まってきていることから、今後も継続した取組みが求められています。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近)	年度	☐ 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内への転入者は毎年一定数以上いるとともに、地域住民や区内外の公共施設、行政窓口からのニーズもあり、必要性は高いと考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	最新の防災情報や行政情報を広く周知するツールとして活用されており、安全・安心のまちづくりの推進や区民の利便性が図られていると考えます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	市民に有用で利便性の高い媒体物を一定部数作成するために現状での予算規模を確保した上で、より利用しやすい仕様への変更やそれに伴う事務手続きの手法の変更等、随時見直ししていく必要があります。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区民の生活に密着する防災情報や行政情報等を広く周知することは、近年起きた台風被害や地震などの状況を踏まえ、喫緊の課題である安全・安心のまちづくりの推進及び区民の利便性の向上を図るための大変重要な取組みであり、現状の事業内容を維持しつつ、利便性の向上に向けて改善しながら取り組んでいく必要があります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	15	案内サイン情報更新事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		まちづくり推進部企画課			島田	63123

事業の概要										
事業の概要		小杉駅周辺再開発等の進捗に合わせた案内サインの地図面等の情報更新を実施するとともに、外国人訪問者の増加に対応するためサインの多言語化等の検討を進め、区民や来街者の利便性向上を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	安全・安心まちづくり事業費			
		—		—						
地域の課題と現状		武蔵小杉駅周辺の再開発事業や等々力緑地再編整備事業等により、令和6年4月1日現在、50箇所72基38面の案内サインが設置されていますが、再開発事業の進捗等により、地図・案内文字情報の内容と現状との乖離が生じるため、速やかにかつ継続して更新作業を進める必要があります。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	990	989	988	988	988	988		
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	990	989	988	988	988	988		

計画 (Plan)	
事業の目的	最新の地図面等に更新することにより、区民や来街者の利便性を向上させます。
今年度の事業の取組内容	小杉駅周辺再開発等の進捗等に合わせた案内サインの地図面や案内表示文字の情報更新を行います。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	小杉駅周辺の開発動向を把握するとともに案内サインの現地確認を行い、等々力緑地内の市民ミュージアム閉鎖や聖マリアンナ東横病院の閉鎖に伴う文字情報盤の張替えを委託により実施しました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標					
					実績					
	2				目標					
					実績					
	3				目標					
					実績					
	4				目標					
					実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		小杉駅周辺の開発や等々力緑地再編整備等の進捗に合わせて、案内サイン地図面や文字情報の更新が必要です。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近)	年度	☐ 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	小杉駅周辺の開発事業や等々力緑地再編整備など小杉駅周辺の大きな変化が続いていくため、区民や来街者の円滑な誘導のため、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	図面や案内表示文字を現地確認し、予算の範囲内で順次情報更新しており、成果は上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現地確認を行い修正が必要な箇所の寸法を詳細に把握し、全面貼替ではなく部分貼りで更新することで、経費削減を図ります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	次年度以降も開発等の進捗があり、案内表示との整合を図ることが必要な状況であることから、掲示内容の見直しや改善を行いつつ案内サインの更新を継続します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	25	中原区放置自転車対策事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			656000		中原区役所道路公園センター管理担当		山本	73521	

事業の概要

事業の概要		自転車等の放置防止に関する条例(以下「自転車条例」という。))に基づき、歩行者や自動車等の安全な通行の妨げとなり、街の美観を損ねている放置自転車の撤去をすると共に、自転車利用者の駐輪マナー・モラルの向上を目指し、駅前や商店街で放置自転車防止の啓発活動の実施を行います。 放置禁止区域の周知及び駐輪場への誘導への啓発を行います。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心まちづくり事業費		
		—		—						
地域の課題と現状		自転車条例の施行の経過及び平成29年度に中原区内全駅周辺において放置禁止区域に指定したことにより、区民への周知が浸透し、ある一定の放置自転車数は減少したが、一部特定駅周辺地区においては、依然放置自転車が見受けられます。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	222	207	222	207	222	162			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	222	207	222	207	222	162		

計画 (Plan)

事業の目的	道路上における自転車等の放置による危険又は障害を未然に防止することにより、歩行者等の通行の安全及び災害時における緊急活動場確保を図り、併せて市民自らが自転車等の適正な駐輪秩序の確立に努めるとともに、安全で住みよい生活環境を維持し、向上させることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	放置自転車の防止を目標に、駅前や商店街での放置自転車防止の啓発活動を実施します。 放置禁止区域の周知及び駐輪場利用への啓発をします。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	交通安全対策協議会との共同実施による放置自転車防止の運動や、各種イベントでのポスター掲示等の啓発活動を行い、幅広く自転車利用者へマナー向上の啓発活動を行いました。 一部放置自転車が解消していない場所について、中原警察署交通課と連携して啓発活動を行い、また、受託者と連携して陳情対応や啓発活動を行うなどの放置対策を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く 社会環境の変化		自転車条例の施行後、これまでの継続した各地区での活動や、中原区内全駅周辺が放置禁止区域に指定したことに伴い区民への周知が浸透し、放置自転車数は一定程度減少してきましたが、 武蔵小杉駅周辺の再開発や生活様式の変化等に伴う自転車利用者の増加が見込まれ、日々の自転車撤去や駅周辺での啓発活動の継続が重要となっています。		
事業の見直し・改善内容		□ 実施 (直近) 年度 ■ 今後実施(7 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和7年4月から荻宿小田中線月トンネルを自転車放置禁止区域に追加指定します。		
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内各駅周辺に自転車が放置される現状、および、放置された自転車の撤去を求める陳情について対応する必要性は高く、事業を継続することで、区民への周知、駐輪モラルの維持と向上が図られます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	放置自転車撤去台数は昨年度より増えましたが、緩やかな減少傾向にあります。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	令和5年度から自転車等放置禁止区域を対象に、「川崎市放置自転車等総合対策業務委託」として一括委託が導入され業務の効率化、市民サービスの向上が図られました。今後も更に、効果的な執行体制が必要です。		

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	歩行者や自動車等の安全な通行の妨げとならないように、自転車利用者の駐輪マナー・モラルの向上を目指し、駅前や商店街で放置自転車防止の啓発活動の実施を行います。 中原区は人口が増加しており、特に小杉地区などは再開発に伴う人口増の割合が高いことから、啓発活動により対応していく必要があります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	30	交通安全教室開催事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			650000		危機管理担当			岩佐	63355

事業の概要										
事業の概要		区民を対象としたスケアード・ストリート方式(スタントマンによる交通事故の再現)を取り入れた交通安全教室を開催し、安全で確実な自転車の乗り方等のルール・マナーを習得させることにより、交通事故の防止を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	安全・安心まちづくり事業			
		—		—						
地域の課題と現状		中原区内における、全人身交通事故件数に占める自転車事故件数の割合が約4割と高く、令和6年度も神奈川県自転車事故多発地域に指定されています。また、事故の原因及び自転車のルールを知っているか等の自転車利用者の実情を中原署交通課と協働により調査の上、実情に沿った対策を行う必要があります。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	1,375	985	1,381	1,320	1,441	1,375		
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	1,375	985	1,381	1,320	1,441	1,375		

計画 (Plan)	
事業の目的	区民を対象とした交通事故防止に効果的な交通安全教室を実施し、交通事故の加害者、被害者にならないよう交通安全教育・啓発を行い、交通事故の削減を図ります。
今年度の事業の取組内容	中学生及び高校生を対象とした教室の実施に加え、成人全般を対象とした教室については、小学校の授業参観日や学校イベント等を活用し実施します。

実施結果（Do）								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	スケアードストリート方式の交通安全教室について、中学校3回、高校2回の計5回を計画どおり実施しました。 小学一年生向けの歩行者交通安全教室を区内全市立小学校18校と大西学園で計19回実施しました。 小学三年生向けの自転車交通安全教室を区内全市立小学校18校と大西学園及び市立聾学校で計20回実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	スケアードストリート方式の交通安全教室	目標	5	5	5	回
				実績	4	5	5	
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
	4			目標				
				実績				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		区内の人口増加による交通量の増加や自転車利用者の交通マナーの問題等により、自転車が関係する交通事故件数が増加傾向の状況にあるので、自転車事故削減に向けた取組が求められています。			
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近)		☐ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載					

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	自転車運転のマナーや、ルール違反などが社会問題になっており、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	長年未開催であった中学校で開催するなどして、計画通りに実施できています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	対象者に中高生の他に一般も加えられるように、開催場所へ協力を要請するなどして、地域住民にも参加の機会をつくるような改善を進めます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	実施場所や内容を見直すことにより、対象者を広げられる可能性があるため、目的や方向性は維持し、見直し・改善を図りながら、継続することが適切であると考えます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
11	01	04	26	10	35	地域防災力強化事業費		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			650000		危機管理担当		大村	63354

事業の概要

事業の概要		能登半島地震・熊本地震や令和元年東日本台風、今後想定される首都直下地震・南海トラフ地震などを踏まえ、区民一人ひとりの防災意識の向上や、近隣住民が助け合う関係の構築、各種関係団体・機関、民間企業、学校などの連携協力体制づくり、これらを支える行政機関の活動など、自助、共助や公助による地域の総合的な防災力の向上を図ります。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心まちづくり事業	
		—		—					
地域の課題と現状		・中原区は、駅周辺に大型高層住宅が立ち並び一方で木造住宅密集地域が混在するまちで、出生や子育て世代の転入による人口増加をはじめ、様々な面から地域防災力の強化が求められます。 ・中原区には、土砂災害警戒区域、多摩川及び鶴見川の洪水浸水想定区域や高潮の浸水想定区域があり、風水害に対する適切な避難や日頃からの備えについて、マイタイムライン等の作成を啓発する必要があります。 ・武蔵小杉駅は、6路線が交わるターミナル駅であり、震災等が発生し鉄道の運行が停止した際は、駅周辺に約14,000人の滞留者が出る事が想定されていることから、エリア防災計画に基づく帰宅困難者対策の取組を進めています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	370	338	7,400	6,843	7,169	4,039		
	財源内訳			1,710	1,710	1,250	1,250		
	市債								
	その他特財								
	一般財源	370	338	5,690	5,133	5,919	2,789		

計画 (Plan)

事業の目的	自主防災組織や避難所運営会議をはじめとした各種団体や区民に対して、近年の異常気象による風水害や首都直下地震等に備えるため、自助、共助や公助による地域の総合的な防災力向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	・自主防災組織や避難所運営会議の活動支援、中原区防災連携協議会部会の開催、武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策としての情報受伝達訓練及び一時滞在施設開設訓練、ぼうさい出前講座などの啓発活動の実施

実施結果 (Do)

上記取組内容に 対する達成度	4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・避難所運営会議を23回開催(会議の開催に向け、未開催の避難所運営会議への支援を積極的に行ったが、会議の空白期間やメンバー変更、高齢化によりノウハウの継承がされず対面での会議が実施できなかったため、役員体制及び避難所の鍵の管理状況を確認するとともに、次年度の避難所運営会議・訓練の開催予定について確認を実施) ・中原区防災連携協議会の部会を3回、部会による医療救護等の訓練を3回(福祉部会・地域防災部会は他の会議体及び通常業務で連携しているため未開催、運輸・輸送部会は受援体制等の全市的な課題があり区単独での議論は難しいため未開催) ・ぼうさい出前講座を50回実施								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	避難所運営会議の開催	目標	29	29	29		回
				実績	20	21	23		
	2	活動指標	区防災連携協議会部会の開催	目標	6	6	6		回
				実績	2	4	6		
	3	活動指標	ぼうさい出前講座の開催	目標	1	5	8		回
				実績	24	18	50		
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		大地震や風水害、及び異常気象などが引き起こす新たな危機事象にも対応できるよう、地域の防災力を更に高めていく必要があります。また、南海トラフ地震臨時注意(巨大地震注意)の発表により、震災に対する意識啓発、地震に対する備え、自助・共助の取り組み、在宅での避難の啓発を行う好機となっています。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		地震に対応の総合防災訓練の実施や、令和5年度に未実施であった避難所運営会議開催に向けて積極的な働きかけを行った結果、開催数が増加しました。		
		評価項目		評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	能登半島地震地震、南海トラフ地震臨時注意(巨大地震注意)の発表により、地震に対する防災意識は向上しています。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	避難所運営会議の開催数については対面での会議が令和5年度より増加し、役員体制及び避難所の鍵の管理状況の確認については全避難所での開催しました。防災連携協議会も令和4年度より回数が増加しました。ぼうさい出前講座は令和5年度から開催数が大幅に増加しました。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	避難所運営会議の開催については、内容を整理し、可能な限り電子化するなど、職員・地域双方の負担軽減を図ります。ぼうさい出前講座については、ベースとなる講座内容を作成しながら内容をアップデートしたり、ぼうさいライブラリの映像素材などを活用することで効率的・効果的な講座となるように実施します。		

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	今後においても、様々な危機事象に対して柔軟に対応できるよう、様々な視点を取り入れながら、これまでの事業を継続し、地域の防災力のさらなる強化を図ります。また、発災時における在宅での避難、地域での共助、トイレ対策についても啓発を行います。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	20	中原区総合子どもネットワーク事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課			星野	63805

事業の概要

事業の概要		中原区における総合的な子育て支援を推進するため、子ども、子育て支援関係者によるネットワーク組織を形成し、情報交換及び連携を通じて様々な子ども・子育て支援活動を展開するとともに、区民と行政が協働で環境の変化に応じた新たな子ども・子育て支援に向けた取組を行います。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども支援事業	
		—		—					
地域の課題と現状		武蔵小杉駅周辺の再開発等による子育て世代の増加などにより、地域包括ケアシステムの考え方にに基づき、地域で子ども・子育て支援が必要となっています。そのため、子ども・子育て支援に関する区民や関係団体・機関の意識の向上、人材のスキルアップ、地域における子ども支援や子育て力の向上が必要となっています。さらに、こども文化センター等の施設を活用し、就学後の児童が地域の人々や世代間の交流を経験するとともに、安心して過ごすことができる居場所づくりが必要となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,891	2,524	3,108	2,611	2,932	2,406		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財 一般財源	2,891	2,524	3,108	2,611	2,932	2,406	

計画 (Plan)	
事業の目的	総合子どもネットワーク会議において、子どもに関わる課題や情報の共有と相互協力を図ります。
今年度の事業の取組内容	総合子どもネットワーク会議の開催。なかはら子ネット通信の隔月発行。子育てグループリーダー交流会の実施。なかはら子ども未来フェスタの開催及び関連する取組の継続実施。子育て支援ボランティア交流、研修等を開催。ミミクロ子育ておしゃべり広場の開催等。

実施結果（Do）								
上記取組内容に 対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・総合子どもネットワーク会議：2回開催 ・中原区子育てガイドブック：1回発行、なかはら子ネット通信：年6回発行 ・11月に民間商業施設や地域の子育て関連団体と連携し、なかはら子ども未来フェスタを開催 ・その他、子育てグループリーダー支援の交流会、子育て支援ボランティアに係る交流・研修、ミミクロおしゃべり広場等を実施							
数値で把握することが可能 な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	なかはら子ネット通信の発行	目標	6	6	6	回
				実績	6	6	6	
	2	活動指標	なかはら子ども未来フェスタの開催	目標	1	1	1	回
				実績	1	1	1	
	3	活動指標	ミミクロ子育ておしゃべり広場の開催	目標	20	20	20	回
				実績	21	19	19	
	4			目標				
				実績				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築のため、地域における子育て支援を推進する必要があります。			
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) R6 年度 □ 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		なかはらこども未来フェスタの開催について、ららテラスと協同して開催しました。また、学生ボランティアの募集も行い協力してもらいました。			
評価項目					
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	引き続き、武蔵小杉駅周辺の再開発等による人口増、子育て世代の増加が見込まれているため、子ども・子育て支援は重要な取組と位置付けられます。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	総合子どもネットワーク会議において情報交換がされ、地域の子ども・子育て支援につながっています。また、なかはら子ネット通信の発行や、なかはら子ども未来フェスタなど着実に事業を実施しています。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	今後も、開催の方法、効率的な事業の進め方や事務手続きの簡素化などを検討し、改善を図ります。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	社会状況の変化により、子育て支援のニーズも変化することから、事業の目的や方向性は維持しながら、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	30	中原区子育て支援推進事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課		星野	63805	

事業の概要

事業の概要		社会福祉協議会と連携し、民生委員・児童委員を中心に地域で開催している親子の集いの場「子育てサロン」を支援することにより、区内で子育てをする親子の仲間づくりや居場所づくり等の促進を図り、子育てのしやすい地域コミュニティづくりを推進します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども支援事業	
		—		—					
地域の課題と現状		転出入が多く、つながりが希薄になっている中原区では、区内で子育てをする親子の仲間づくりや居場所づくり等の促進を図り、子育てのしやすい地域コミュニティづくりが必要となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,491	1,669	2,309	1,651	2,309	1,663		
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
財源内訳	一般財源	2,491	1,669	2,309	1,651	2,309	1,663		

計画 (Plan)

事業の目的	事業委託や実行委員会の開催、研修等を通じ、地域で開催している親子の集いの場「子育てサロン」を支援し、子育ての仲間づくり等の促進を図るとともに、地域との交流を深めることで安心して子育てできることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	中原区子育て支援推進実行委員会へ委託し、区内15か所の子育てサロンへの運営支援。中原区子育て支援推進実行委員会を通じ、ボランティアが区内で開催している「子育てふれあい広場」への支援。子育てサロンの従事者向け研修の実施。中原区子育て支援推進実行委員会全体会を年2回(6月・3月)、運営部会を年4回開催。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	区内15か所の子育てサロン及び子育てふれあい広場の運営支援 子育てサロンの従事者向け研修の実施(3月) 中原区子育て支援推進実行委員会全体会を年2回(6月、3月)実施 運営部会を年4回実施									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	子育てサロン開催回数	目標	123	170	208		回	
				実績	171	208	203			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築のため、地域における子育て支援を推進する必要があります。							
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)							
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載									
評価項目					評価				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている		a		
	評価の理由		子育て世代が増加している中原区において、地域のボランティアが運営する子育てサロンは引き続き重要な場となっており、その支援も必要なものとなっています。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない		a		
	評価の理由		目標で定めた子育てサロンの開催回数をやや下回りましたが、参加者数は前年度を上回っています。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。				a. 可能性はない b. 可能性はある		b		
	評価の理由		子育てサロンを地域で運営するに当たっては、状況等に応じて手法や効率的な実施方法等を継続的に検討する必要があると考えられます。						

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	社会状況の変化により、子育て支援のニーズも変化することから、事業の目的や方向性は維持しながら、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	35	中原区子育て情報発信事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課		星野	63805	

事業の概要

事業の概要		ホームページ、「子育て情報ガイドブック」や「地域子育て支援センター等紹介リーフレット」等により、子育て中の世帯に向けて多種多様な子育て関連情報を効果的に提供します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども支援事業	
		—		—					
地域の課題と現状		中原区は出生数、子育て中の世帯の転出入が共に多くなっており、地域に馴染みがなく孤立する恐れがある子育て中の世帯に向けて多種多様な子育て関連情報を効果的に提供し、中原区での子育てを円滑かつ充実したものにする必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,729	1,556	1,719	1,605	1,719	1,503		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
	一般財源	1,729	1,556	1,719	1,605	1,719	1,503		

計画 (Plan)

事業の目的	子育て中の方に向けて多種多様な子育て関連情報を効果的に提供し、子育てが円滑かつ充実したものとなることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	中原区子育て情報ガイドブックの作成、子育て情報等紹介リーフレットの作成、子育て施設マップの作成

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	・中原区子育て情報ガイドブックの作成(8,100部) ・子育て情報等紹介リーフレットの作成(9,000部) ・子育て施設マップの作成(17,000部)									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	中原区子育て情報ガイドブックの作成	目標	9,000	9,000	9,000		冊	
				実績	9,000	9,000	8,100			
	2	活動指標	子育て情報等紹介リーフレットの作成	目標	10,000	10,000	9,000	冊		
				実績	10,000	10,000	9,000			
	3	活動指標	子育て施設マップの作成	目標	17,000	17,000	17,000	冊		
				実績	17,000	17,000	17,000			
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築のため、地域における子育て支援を推進する必要があります。					
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載							
評価項目						評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	引き続き、武蔵小杉駅周辺の再開発等による人口増、子育て世代の増加が見込まれているため子育て情報の提供は重要な取組となっています。					
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	出生時や転入時に配布している子育て情報ガイドブックは区独自のキャラクター等を載せるなどデザインに工夫を凝らしながら、多様な子育て情報掲載するなど有効に子育て情報を提供できていると考えられます。					
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ガイドブックやリーフレット、マップの掲載情報を精査し、類似の事項は省略する等、より効率的に作成できる可能性があります。					

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続き、ガイドブックやリーフレット、マップの掲載情報を精査し、類似の事項は省略する等、より効率的に作成できるよう検討します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
11	01	04	26	15	40	中原区子どもの発達支援事業		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			655130		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域支援課		晝間・福島	63814

事業の概要

事業の概要		発達に何らかの課題のある子どもをもつ保護者に対して、発達の理解を得るための情報提供を行い、子どもへの対応スキルの向上や保護者同士の相互理解の推進を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的なこども支援事業		
		平成21年度		—						
地域の課題と現状		子どもの発達支援にかかわる関係機関は保育園、幼稚園、小学校、中学校といった児童の所属機関から、地域みまもり支援センターや療育センター、総合教育センターといった専門機関まで幅広く、発達に課題のある児の把握と支援及び保護者の支援について様々な課題を抱えています。支援機関同士の情報共有やネットワーク構築が必要です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	878	867	906	862	906	842			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源		878	867	906	862	906	842			

計画 (Plan)

事業の目的	発達に課題を持つ児の保護者が、セミナー等の参加により子どもへの対応スキルを学ぶとともに、関係機関同士のネットワーク構築により、子どもへの発達支援向上のための切れ目のない支援を提供します。
今年度の事業の取組内容	・就学前セミナー「子どもの発達支援セミナー」の開催(年9回) ・委託事業者による就学後セミナー「保護者ミーティング」の開催(年8回) ・発達支援ネットワーク会議の実施(年1回)

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり							
取組内容の実績等	・就学前セミナー「子どもの発達支援セミナー」の開催(年8回)(予約者がいなかった1回分を中止としました。) ・委託事業者による就学後セミナー「保護者ミーティング」の開催(年8回) ・発達支援ネットワーク会議の実施(年1回)								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	子どもの発達支援セミナーの実施	目標	9	9	9		回
				実績	9	9	8		
	2	活動指標	保護者ミーティングの実施	目標	7	7	8		回
				実績	7	7	8		
	3	活動指標	発達支援ネットワーク会議の開催	目標	1	1	1		回
				実績	1	1	1		
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		「発達障害」が社会的にも広く認知されるようになりましたが、児童への支援のみならず、保護者支援の充実も求められています。			
事業の見直し・改善内容		☐ 実施（直近） 年度 ☐ 今後実施（ 年度から）			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載					
評価項目					
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	
	評価の理由	発達に課題を抱える児童を把握する機会が増えており、相談ニーズは高まっています。			
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由	セミナーなど参加した保護者のアンケートは大変好評で、成果があったと考えられます。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	
	評価の理由	より効果的な事業となるよう内容の精査、周知方法等について改善の可能性があります。			

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	いずれの事業も、発達支援ネットワーク会議の参加機関の委員やスタッフの協力により開催しました。今後も事業内容が充実していくよう、工夫や見直しを行いながら継続していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	45	中原区子育て支援者養成事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課			星野	63805

事業の概要									
事業の概要		区民の子育てへの理解を深めると共に、子育て支援に関心のある方を子育て支援者として養成し、ミケロ子育ておしゃべり広場や子育てサロン等、地域における子育て支援の活動の場につなげます。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	総合的な子ども支援事業		
		—		—					
地域の課題と現状		中原区は、子育て中の親子の転入が多く、つながりが希薄になる中で、子育ての不安や地域からの孤立を解消し虐待等を予防するために、地域の子育て支援の力を高めていく必要があります。また、子育てサロンなど、ボランティアが中心となって運営されている子育て支援の場の多くは、ボランティアの人数不足が恒常的な課題となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	757	757	783	757	783	757		
	財源内訳	国庫支出金							
	市債								
	その他特財								
	一般財源	757	757	783	757	783	757		

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て支援に関心のある方を子育て支援者として養成し、ミケロ子育ておしゃべり広場や子育てサロン等、地域における子育て支援の活動の場につなげ、地域での支援者層の拡大と、支援者の力量の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	子育て支援者養成講座(区民50名対象 全5回講座 対面とオンラインの2コース)

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	子育て支援者養成講座（対面6回、オンライン1回） 対面を増やしたことで、交流会の参加者数が昨年度の倍以上となり、参加者同士や子育て支援団体とのつながりができ、子育て支援者として活躍されている方を輩出できました（2名）									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	子育て支援者養成講座の開催	目標	10	10	10		回	
				実績	12	12	7			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築のため、地域における子育て支援を推進する必要があります。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		オンラインと対面開催を併用していましたが、オンライン開催は一方的な説明になることや参加者同士の交流が少なくなることなどを鑑み、初回のみオンラインと対面の開催とし、二回目以降は対面開催として参加者同士の交流の機会を増やしました。		
評価項目		評価		
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	引き続き、武蔵小杉駅周辺の再開発等による人口増、子育て世代の増加が見込まれているため子育て支援に関する取組は重要であると考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	講座をきっかけに子育て支援に関わる受講生もいることから、中原区の子育て支援の一助となっていると考えます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	より効果的な講座となるよう、内容の精査、周知の方法等について改善の可能性があります。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	子育てサロンやミケロおしゃべり広場など地域での子育て支援者の育成は子育てしやすい環境の向上のために重要であるため、内容や手法等を見直しながら引き続き実施します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	20	05	中原区地域包括ケアシステム推進事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課			星野	63805

事業の概要										
事業の概要		川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンや中原区地域福祉計画に基づき、地域のつながり、居場所づくりを目指したワークショップ等の取組により、支え合える地域づくりを行います。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域福祉活性化事業			
		—		—						
地域の課題と現状		支え合いの最小単位である家族の構成人数が減っている中、子育て世代も一人暮らしの高齢者も孤立せずに地域で過ごすことができるように、あらゆる世代の人と人がつながる必要があります。また、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づき、第7期中原区地域福祉計画(令和6～8年度)に即して、地域福祉の情報発信等を通して、地域とのつながりの推進を目指します。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	709	587	1,109	890	1,109	905		
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	709	587	1,109	890	1,109	905		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域福祉の情報発信等を通して、子ども、高齢者、障害者が安心して地域で暮らし続けられることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	地域包括ケアシステム推進のための話し合いの場の設定や地域のつながり、居場所づくりを目指した取組や情報発信。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		ご近所さんぽを通じた対話の場の創出（16回）、地ケアに関する地区ブロック会議の開催（5回） 地域の大人と子ども、大人と学校、大人同士をつなげる「なかはらYOKUSURU会議」の開催（2回） 中原区役所の関係性を活かし地域の大人たちをつなぐ「名刺交換会」の開催（1回） 地域密着情報紙「どう？ご近所さんぽ」の発行、ポスティング（5回）								
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1	活動指標	地域での対話（意見交換）の場の開催	目標	11	22	22		回
					実績	20	22	24		
		2			目標					
					実績					
		3			目標					
					実績					
		4			目標					
					実績					

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		子育て世代も一人暮らしの高齢者も孤立せずに地域で過ごすことができるよう、地域のつながりや居場所づくりを目指した取組等による、支え合える地域づくりが求められています。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンにおけるシステム構築に向けたロードマップでは、来年度からシステム進化期に入るため、地域包括ケアシステムの推進は今後さらに重要となります。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域の方との対話を重ねることで地域資源や課題が明確となり、地域の自助・互助の取組支援に繋がっています。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	第7期中原区地域福祉計画、コミュニティ施策などと連動しながら、より効果的に促進できる手法等を検討します。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続き川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンや第7期中原区地域福祉計画に沿って、事業を推進します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	20	10	なかはら福祉健康まつり実施事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課		星野	63805	

事業の概要										
事業の概要		中原区内で福祉や健康に携わる団体やボランティア等が参加し「であい、ふれあい、ささえあい」をテーマに、活動の発表や展示、体験型イベントを通し、区民に福祉や健康への理解を深めてもらうとともに、参加団体の交流の場となる「なかはら福祉健康まつり」を実施します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域福祉活性化事業			
		—		—						
地域の課題と現状		第7期川崎市地域福祉計画(令和6年～8年度)や、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づき、福祉や健康への理解・関心を深めるとともに、市民や団体同士の交流を通して、地域福祉や健康活動のネットワークづくりを推進する必要があります。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	708	0	1,042	1,042	1,042	1,042		
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	708	0	1,042	1,042	1,042	1,042		

計画 (Plan)	
事業の目的	「なかはら福祉健康まつり」を開催することで、福祉や健康への理解・関心を深めるとともに、市民や団体同士の交流を通して、地域福祉や健康活動のネットワークづくりを推進することを目的とします。
今年度の事業の取組内容	11月に福祉健康団体等で構成される実行委員会による「なかはら福祉健康まつり」を開催します。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	なかはら福祉健康まつりの開催（1回。来場者約1400人）									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	福祉健康まつりの開催	目標	1	1	1		回	
				実績	0	1	1			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		高齢者、障害者、子どもなどすべての方を対象とした川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づき事業を推進する必要があります。											
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)											
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		回遊性等を考慮して、1Fと4Fでの開催からすべての催し物を同じフロア(1F)で開催しました。											
評価項目												評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか										a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	地域福祉への理解やネットワークづくりにつながり、地域包括ケアシステムの推進に寄与するため引き続きニーズはあると考えます。											
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか										a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	新たな団体を招いて開催することにより、参加者だけでなく団体同士のつながりに寄与しています。											
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。										a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	区民の実行委員会による運営のため、協働という形を保ちつつ、費用対効果を含めた改善余地はあると考えています。											

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地域の福祉と健康に関する啓発や地域活動や健康活動のネットワークづくりが更に効果的に行われるように開催内容を検討し、感染症等、社会情勢を鑑みながら見直し・改善のうえ実施していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	20	25	中原区地域交流活性化事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655130		地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）地域支援課		新井野	63812	

事業の概要										
事業の概要		地域毎の交流の場やそれを支えるボランティア活動等を掲載したリーフレットを作成・配布して、誰もが安心して地域で暮らし続けることができるよう、高齢者の外出や社会的交流の活性化を目指します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域福祉活性化事業		
		令和2年度		—						
地域の課題と現状		支えあいの最小単位である家族の構成人数が減っている中、高齢者が元気なうちから地域での活躍の場やつながりをもつ必要があります。健康づくりや介護予防の視点の他、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づく第7期中原区地域福祉計画（令和6年～令和8年度）に即した情報発信や普及啓発を通して、地域のつながりの推進を目指します。								
予決算 （単位：千円）	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	423	124	179	139	338	322		
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	423	124	179	139	338	322		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域資源に関する情報発信により、高齢者の地域活動への参加やセルフケアの意識醸成を図ります。
今年度の事業の取組内容	各地区で行われている地域の交流の場やそれを支えるボランティア活動等を掲載した「おでかけマップ・情報一覧」を作成・配布します。

実施結果（Do）								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	区内36か所への配架と地域交流の場やイベント等での直接配布で、合わせて7000部配布しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	リーフレット配布先箇所数	目標	36	36	36		箇所
			実績	38	36	36		
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
	4		目標					
			実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		高齢化率の上昇に伴い虚弱な高齢者も増加しており、引き続き高齢者の外出や社会的交流の活性化を促すことが求められています。				
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)				
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載						
評価項目						
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域交流や介護予防の観点から、外出の機会増やす必要があり、そのためにも情報発信の必要があります。				
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	リーフレット配架依頼の施設から配架部数追加の問い合わせが増えています。				
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。				a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	毎年、活動団体の追加・修正があり、正確な情報発信のために更新する必要があります。				

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	中原区内の活動団体を把握し、各活動を区内の高齢者に向けて周知することができました。健康寿命の延伸のためにも、高齢者の外出の機会が求められていますので、工夫や見直しをしながら継続します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	05	区民の手で花いっぱい中原事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			鈴木	63356

事業の概要										
事業の概要		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることを目的に、区民との協働により、区役所や武蔵小杉駅、武蔵中原駅周辺の公共花壇等への植栽及びその維持管理を行うとともに、区民に対して親子花植体験や講習会等を実施します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域資源活用事業費			
		—		—						
地域の課題と現状		人口増をはじめ区内における社会情勢に変化がある中、郷土意識の醸成を図り愛着と誇りを持てる地域となるよう区民との協働により、景観の魅力を発信するとともに環境意識の向上等につなげる必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,720	1,643	1,920	1,858	1,920	2,242			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	1,720	1,643	1,920	1,858	1,920	2,242		

計画 (Plan)	
事業の目的	区民との協働により、区役所や武蔵小杉駅、武蔵中原駅周辺の公共花壇等への植栽及びその維持管理を行うとともに、区民に対して親子花植体験や講習会等を実施することで、地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ります。
今年度の事業の取組内容	●花クラブ実行委員会との協働による、区役所や武蔵小杉、武蔵中原駅周辺の公共花壇等への植栽と維持管理の実施 ●花クラブ実行委員会との協働による、花壇を活用した地域の魅力発信に資する活動 ●公共花壇等に花植えを行う団体に花苗を配布

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・区内5箇所の公共花壇への植栽及び維持管理の実施 ・委員の技術や知識向上のため、講習会を実施 ・地域の子どもを対象とした花植え体験講座の実施								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	花の植替え	目標	2	2	2		
				実績	2	2	2		
	2	活動指標	花の配布会	目標	1	1	1		
				実績	1	1	1		
	3	活動指標	講座・講習会	目標	0	0	2		
				実績	0	2	2		
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く 社会環境の変化		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人とのつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。											
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)											
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		チラシや市政だより、花壇上での表示の活用、講習会の開催などを通し、事業周知を図るとともに、新規委員の獲得を図っています。											
評価項目												評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか											a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	景観向上による区のイメージアップ効果は依然として高いと考えられます。											
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか											a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区役所や駅周辺の公共花壇への植栽・維持管理を通じて、区の景観向上に著実に貢献しています。											
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。											a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事務手続きの見直しなどによる取組が必要と考えます。											

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	ボランティアによる公共花壇の維持管理が図られているが、メンバーの高齢化等の課題もあることから、委員募集等の改善を行いながら、事業を継続することが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	10	環境まちづくり支援事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		まちづくり推進部企画課			島田	63123

事業の概要

事業の概要		区民・市民活動団体・企業・行政の協働により、身近な環境について学ぶイベントや、区内の小学校で学ぶ「子ども環境授業」などを実施し、地球温暖化防止に係る地域活動の普及・啓発を行います。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域資源活用事業費			
		—		—						
地域の課題と現状		地球温暖化防止に向け、区民自らが身近に環境問題を考え、行動できるような取組が必要です。								
予決算 （単位：千円）	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1636	1081	2,017	1,033	2,318	1,936			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源	1636	1081	2,017	1,033	2,318	1,936				

計画 (Plan)

事業の目的		地球温暖化防止活動の普及・啓発を図りながら、区民との協働により様々な取組を実施し、より環境に配慮した市民生活を送るよう環境意識を醸成します。
今年度の事業の取組内容		企業や市民団体と連携してSDGs啓発イベントや子ども環境授業などを開催し、環境学習の場を提供します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	・川崎フロンターレ等との共催で6月2日にかわさきSDGsランドを開催 ・子ども環境授業を開催(矢上川で遊ぶ会×木月小学校、サントリー×上丸子小学校・宮内小学校の計3校で延べ4回実施 ・国産木材を利用した環境啓発品を製作・配布 ・かわさきスポーツパートナー、区内学校、かわさきSDGsパートナー等と連携し、SDGsを学べる啓発イベント「なかはらSDGsまつり」を3月1日にグランツリー武蔵小杉と共催して開催							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	子ども環境授業の開催回数	目標	4	4	4	回
				実績	5	6	4	
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
	4			目標				
				実績				

評価 (Check)

事業を取り巻く 社会環境の変化		環境に配慮した意識を醸成する取組については、引き続き継続的な取組が求められていますが、日々変化する社会環境に合わせ、効果的・効率的に普及・啓発を行うため、随時事業内容を見直す必要があります。				
事業の見直し・改善内容		☐ 実施（直近）		☐ 今後実施（		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		年度		年度から）		
評価項目						
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	持続可能な社会に向けて、地球温暖化防止は施策上のニーズは高いと考えられます。				
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	小学生が企業や団体からより実践的な環境教育を受けられることで、広範な知識の習得や環境に対する意識醸成に役立っています。				
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。				a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	これまでの取組経過等も踏まえ、実施に向けた事務打合せを効率的に進めるなど、事務改善の可能性はあります。				

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	2050年の脱炭素社会実現に向けて引き続き環境配慮への取組が求められていることから、企業や団体等との連携について、取組の見直し・改善をしながら、事業を継続します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	15	中原スポーツまつり開催事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			岡崎	63360

事業の概要										
事業の概要		ニュースポーツやバラスポーツなど「年齢を問わず」、「誰でも」、「簡単に」、「すぐできる」スポーツを行うことで、市民が気軽に運動できる機会として「中原スポーツまつり」を開催し、「スポーツのまち・かわさき」を推進します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域資源活用事業費			
		令和3年度		—						
地域の課題と現状		超高齢社会等を背景に、競技スポーツだけでなく、健康不安や生活習慣病の拡大などへの対応として、高齢者でもできる生涯スポーツへと、スポーツのニーズが多様化しています。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	944	898	883	866	883	875			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財 一般財源	944	898	883	866	883	875		

計画 (Plan)	
事業の目的	① 子どもの健全な発育、中高年の生活習慣病等の予防や体力・生活機能の維持 ② 幅広い市民への運動機会提供による運動不足解消・健康づくり ③ 多様な世代の交流機会創出と地域の繋がりがづくり
今年度の事業の取組内容	ニュースポーツ・バラスポーツのような「誰でも簡単にできるスポーツ」の体験ブースを出展します。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	町会やスポーツ推進委員会を始めとした地域団体による実行委員会で内容を検討し、川崎市とどろきアリーナ（川崎とどろきパーク株式会社）と共催することで前回の18種目を上回る26種目の体験ブースを出展するなど内容を拡充しました。結果、目標を上回る2,677人の参加がありました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	中原スポーツまつりの開催（参加者）	目標	500	500	500		人
				実績	597	844	2677		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価（Check）

事業を取り巻く 社会環境の変化		健康不安や生活習慣病の拡大などを背景に、競技スポーツだけでなく、高齢者でもできる生涯スポーツへと、スポーツのニーズが多様化しています。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施（直近） R5 年度 □ 今後実施（ 年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		R3年度：これまで長年にわたり主にドッジボール大会として実施してきましたが、スポーツのニーズが多様化している現状を踏まえ、令和3年度より新規事業「中原スポーツまつり」へ移行しました。 R5年度：川崎市とどろきアリーナと共催することで、18種目のブースを出展し、令和4年度より出展数を増やしました。（令和4年度は15種目）		

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	スポーツへのニーズが多様化したことで、より幅広いニーズ（様々なスポーツが体験できるニーズ）が高まっていると考えられます。	
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	親子連れを中心に多くの方に参加していただいており、参加者アンケートでは事業に対して好意的な意見が寄せられています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	高齢者や障害がある方など、さまざまな方に参加しやすい内容となるよう、実施種目を始めとした事業内容を更に改善していきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続きスポーツに対する多様化したニーズに対応した内容で開催できるようニュースポーツやバラスポーツなど「年齢を問わず」、「誰でも」、「簡単に」、「すぐできる」スポーツを行うことで、市民が気軽に運動できる機会を提供していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	20	中原区体育及びスポーツ振興事業費			
担 当			所 属 コー ド		所 属 名		担 当 者	連 絡 先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		岡崎	63360	

事業の概要

事業の概要		スポーツ大会主催者の申請に基づき、スポーツの振興発展等に寄与すると認められるスポーツレクリエーション行事に対して区長杯を贈呈することで、行事の盛り上げ、参加者のスポーツ活動の動機付けに加え、参加者の親睦の促進を通じて地域のコミュニティの推進に寄与しています。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費	
		平成23年度		—					
地域の課題と現状		地域住民間のコミュニティ意識の希薄化が課題となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	66	41	66	57	60	51		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	66	41	66	57	60	51		

計画 (Plan)

事業の目的	スポーツの振興発展等に寄与すると認められるスポーツレクリエーション行事に対して区長杯の製作・贈呈を行います。
今年度の事業の取組内容	申請のあった各種スポーツ大会に対し、区長杯を贈呈します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	7大会において14個の区長杯を贈呈しました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	贈呈した大会数	目標	6	6	6		大会	
				実績	5	6	7			
	2	成果指標	贈呈した個数	目標	12	12	12	個		
				実績	10	12	14			
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
実績										

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		スポーツ大会を活性化させることに区長杯を贈呈することで一定程度の効果が望めるものの、社会環境の変化等により、一部の競技大会に対して施策を実施するのではなく、多世代に対して効果のある施策を実施していく必要が生じています。							
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) R6 年度 □ 今後実施(年度から)							
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		R6年度:贈呈する楯の材質等を見直し、経費を削減しました。							
評価項目									
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか						a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由		区長杯の申請団体は毎年固定化しており遞減傾向にありますが、コロナ禍明けで再開され始めているイベントもあり、ニーズは薄れていません。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか						a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由		贈呈した大会、個数は指標を上回っています。今後もイベント等の主催団体等の意向を汲みながら、効果的な施策を検討します。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。						a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由		限られた予算の中でより効果的な施策を実施できるよう、経費削減などを検討していきます。						

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	より効果的に事業を実施するため、イベント等の主催団体とも意見交換しながら事業を継続しつつ、手法も検討します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	25	中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」開催事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			岡崎	63360

事業の概要									
事業の概要		健康増進スポーツとして多くの区民に親しまれているランニングを通じて、普段からの運動の習慣化・運動人口の増加、地域への愛着・シビックプライドの醸成を図るため、誰でも気軽に参加できて、走る楽しみや完走する達成感を感じられるランニングイベントとして、「なかはらランニングフェスタ」を開催します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域資源活用事業費		
		令和4年度		—					
地域の課題と現状		小杉地区を中心に都市整備が進展する一方で、コミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組を通じて世代や地域間の交流機会を創出する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	460	460	700	700	700	700		
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
財源内訳	一般財源	460	460	700	700	700	700		

計画 (Plan)	
事業の目的	健康増進スポーツとして親しまれている「走る」ことを通じ、区民の交流機会を創出し、健康増進・体力増強を図り、相互親睦を深めることにより、健康で明るく住み良いまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	小学校低学年と保護者ペアによる「ファミリーラン」(1km)、等々力陸上競技場とその周辺を走る「ロードレース」(約3km、5km)などを実施します。

実施結果（Do）										
上記取組内容に 対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		町会やスポーツ推進委員会を始めとした地域団体による実行委員会で内容を検討し、富士通陸上競技部による「ランニング教室」や、「ファミリーラン」(1km)、「車いすラン」(1km)、「ロードレース」(約3km、約5km)などの実施に加えて、新たに3～6歳程度の未就学児を対象にした「チャレンジラン」(200m)やプログラム全体を通して仮装ランを実施し、子どもから大人まで幅広く多くの参加者を受け入れることができたことにより、目標を上回る911人の参加がありました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	なかはらランニングフェスタの開催(参加者)	目標	500	500	500		人	
				実績	601	724	911			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
実績										

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		転入者や子育て世代が多いですが、定期的なスポーツ実施率が低かったり、スポーツイベントへの参加の機会・情報や動機付けが不足しています。			
事業の見直し・改善内容		☐ 実施	(直近)	年度	☐ 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載					

評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	転入や子育て世代が多い中、特に未就学児や親子を対象とした種目は、早期に申込定員に達しており、身近にスポーツに親しめる機会に対するニーズは高まっています。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	未就学児を対象とした新たなメニューの実施等により、幅広い世代に参加していただいています。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	運営の人手不足という課題があるため、役割分担・人員配置の見直しを図っていきます。			

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続き健康マラソンの普及と区民の健康増進を図るため、誰でも気軽に参加できて、走る楽しみや完走する達成感を感じられるランニングイベントを開催することで、区民の交流機会、健康増進・体力増強の機会を提供します。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	30	中原区青少年吹奏楽コンサート事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		木村	63352	

事業の概要									
事業の概要		区内の中学校及び高等学校を対象に中高生の運営参加による吹奏楽コンサートを開催し、青少年の育成、地域間・世代間の交流を促進します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域資源活用事業費		
		平成2年度		一					
地域の課題と現状		小杉地区を中心に都市整備が進展する一方でコミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組みを通じて世代や地域間の交流機会を提供し、地域を活性化していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1650	1640	1,650	1,544	1,650	1,549		
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1650	1640	1,650	1,544	1,650	1,549		

計画 (Plan)	
事業の目的	音楽を通じた青少年の育成、地域間・世代間の交流を促進します。
今年度の事業の取組内容	区内中学校及び高等学校を対象とした吹奏楽コンサートを実施する。なお、エポックなかはらでの5年ぶりの通常開催となるため、運営方法の確認及び再検討を行います。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	中原区内中学校（9校）、高等学校（6校）が参加し、出演生徒全470名がエポックなかはらにて演奏を行いました。 また、一般客が入場可能な形で開催し、1,880名の観客が来場しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	中原区青少年吹奏楽コンサートの来場者数	目標	600	1,200	1,200		人	
			実績	763	1134	1880			
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
			実績						
	4		目標						
			実績						

評価（Check）

事業を取り巻く 社会環境の変化		区内の人口が増加し、新たに区内に居住される方が多い状況の中、地域と行政が協働により区内の音楽資源を有効に活用しながら継続して地域交流の促進に向けた取組が求められています。また、青少年指導員が実行委員会の中心となり活動しており、当日は指導員と生徒が協力して運営することで、青少年の健全育成に寄与するイベントにしていける必要があります。						
事業の見直し・改善内容		☐ 実施	（直近）	年度	☐ 今後実施（	年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載								
評価項目							評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている		a	
	評価の理由	4年ぶりの有観客での開催となった昨年度よりも、来場者数が増加したためです。						
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない		a	
	評価の理由	音楽を通じた青少年の育成、地域間・世代間の交流を促進しています。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。				a. 可能性はない b. 可能性はある		b	
	評価の理由	広報における経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があります。						

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	長年に渡り同様の事務手続き、コンサート内容となっているため、社会状況の変化に合わせてコンサート内容や会場の再検討、事務手続きの見直しを行いながら、継続して本事業を実施していくことが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	35	中原区役所コンサート開催事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			花井	63356

事業の概要

事業の概要		親しまれる区役所を目指すとともに、本事業を通して市の施策である「音楽のまち・かわさき」に掲げる、「市民が愛着と誇りが持てるまちづくり」を推進することを目的に、ランチタイムに中原区役所等を会場として、区民ボランティアとともにコンサートを実施し、区民に様々なジャンルの良質な音楽を気軽に楽しめる機会を提供します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費		
		—		—						
地域の課題と現状		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1723	1515	1,723	1,353	1,723	1,715			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源	1723	1515	1,723	1,353	1,723	1,715				

計画 (Plan)	
事業の目的	中原区役所や区内施設等を会場として、区民ボランティアとともにコンサートを実施し、区民に様々なジャンルの良質な音楽を気軽に楽しめる機会を提供することで、親しまれる区役所を目指すとともに、本事業を通して市の施策である「音楽のまち・かわさき」に掲げる、「市民が愛着と誇りを持てるまちづくり」を推進します。
今年度の事業の取組内容	内容充実のため実施回数等の見直しを行いながら、区役所や区内施設等を活用したコンサートを実施します。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・区役所5階会議室、グランツリー武蔵小杉、等々力緑地、平和館屋内広場、エボックなかはらにて全5回コンサートを実施し、延べ1400人以上の来場者数がありました。 ・2月には市制100周年を記念し、エボックなかはらでスペシャルコンサートを実施し、約1,250名の応募があり当選した約850名が来場しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	コンサートの開催	目標	6	5	5		回
				実績	6	6	5		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化			街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人とがつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。						
事業の見直し・改善内容			■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施 (年度から)						
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			令和4年度から委託業者の選定方法を見直し、一般競争入札を行っています。また、来場者の多様化を目指し、話題性の高いアーティストや多彩なジャンルの音楽を提供できる企画の工夫を例年行っています。						
評価項目								評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか							a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由							事業開始当初より現在まで、常に満席に近い集客となっています。また、終演後に実施しているアンケートからも、事業への満足度や期待が高いことが窺えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか							a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由							「音楽のまちづくり」の推進、区役所のイメージアップに貢献しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。							a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由							今後も内容等の充実に向け実施回数等の検討を行いながら、効率的に運営していきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了		Ⅱ 他音楽事業と比較して本事業の必要性を検証し、実施回数等を検討しながら本事業を実施していくことが適切であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	40	In Unity開催事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		福本	63356	

事業の概要

事業の概要	区民との協働により、区内で活動するアマチュアミュージシャンやダンスグループに日頃の成果を発表する場を提供し、音楽を通じて幅広い地域・年齢層の人々の交流促進を図ります。								
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費					
実施期間	—	—							
地域の課題と現状	世代間・地域間の交流等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,909	1,903	1,909	1,908	1,909	1,839		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	1,909	1,903	1,909	1,908	1,909	1,839		

計画 (Plan)

事業の目的	区民が音楽を通じて地域への愛着や誇りを持てるまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	●アマチュアミュージシャンやダンスグループなどによる音楽ライブ「In Unity」の開催 ●中原区内各所で、PRイベントの実施

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	中原区役所を会場にIn Unity2025を実施した(参加者延べ600人)。区内各所でのPRイベント、地域団体と連携したイベントを実施(計3回)し、他団体等と協力関係を構築することができました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	中原区音楽ライブ「In Unity」の開催	目標	1	1	1	回
			実績	1	1	1		
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
	4			目標				
実績								

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人とがつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	実行委員会の活性化を図るため、新規実行委員の募集を行い、新たに7名が委員として参加しました。		
評価項目			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	出演希望者が多数あり、事業ニーズは依然として高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域団体と協力関係を築き、地域交流創出のイベントを開催するなど、今後の事業の発展に繋がる成果がありました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事務改善や市民ボランティアとの役割分担の整理等が必要となっています。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	今年度は実行委員の募集を新規で行い活性化を図るなど、市民ボランティアと協働でイベントを開催しておりますが、事業の実施方法や運営人員の確保等について見直しが必要であると考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称							
款	項	目	大	中	小								
11	01	04	26	25	50	歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業費							
担 当			所属コード		所属名				担当者		連絡先		
			651700		まちづくり推進部地域振興課				鈴木		63356		

事業の概要

事業の概要		区民自らの手によりまちの魅力を発信していくため、地域の歴史や人材等を活用し、まち歩きや講座を通じて区民に中原区の魅力を発信することで区への愛着を醸成し、中原区の魅力を紹介できる人材を育成します。									
		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費			
実施期間		—		—							
地域の課題と現状		区民にとって歴史や自然といった地域の魅力に触れ合う機会が少ないという課題があるため、地域の魅力に再発見する機会を提供することにより、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。									
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
	事業費	608	344	608	514	608	823				
	財源内訳	国庫支出金									
		市債									
	その他特財										
	一般財源	608	344	608	514	608	823				

計画 (Plan)

事業の目的	地域の歴史や人材等を活用し、まち歩きや講座を通じて区民に中原区の魅力を発信するとともに、中原区の人材を紹介できる人材を育成することにより、区民自らの手によりまちの魅力を発信していきます。
今年度の事業の取組内容	●地域の歴史や文化を活用したまち歩きや講座を開催 ●小学生向けの休日講座など、より多様な層の区民が参加できる講座の開催

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	・9月～3月に魅力発信講座を開催 ・小学生を対象とした夏休み特別講座を開催								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	講座の開催	目標	1	1	1		回
				実績	1	1	1		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	街並みが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人とのつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。					
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	通常講座だけでなく、小学生対象の休日開催の単発特別講座を設けたりすることで、より多様な層の区民が気軽に参加できる企画の工夫を行いました。					
評価項目						
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多くの講座で、募集人数よりも多くの応募をとっています。また、講座時に実施しているアンケートからも、事業への満足度や期待が高いことが窺えます。				
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区の魅力発信に着実に貢献しています。				
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。				a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	今後も内容等の充実に向け実施回数等の検討を行いながら、効率的に運営していきます。				

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区内人口の増加に伴い、地域交流の機会として、区民との協働により、区内の文化資源を有効に活用し、工夫をしながら継続して本事業を実施していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	55	スポーツを通じた地域活性化推進事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			岡崎	63360

事業の概要										
事業の概要		区内を活動拠点とするスポーツパートナーや体育施設などのスポーツ資源を活用し、バレーボール教室やバスケットボール教室などの開催に取り組み、誰もが気軽に楽しめるスポーツを通じて、地域住民の交流機会を創出し、相互親睦を深めることにより、健康で明るく住み良いまちづくりを推進します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費					
		平成23年度	—							
地域の課題と現状		小杉地区を中心に都市整備が進展する一方で、コミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組を通じて世代や地域間の交流機会を創出する必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	3177	3136	2,998	2,655	3,004	2,555			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源		3177	3136	2,998	2,655	3,004	2,555			

計画 (Plan)	
事業の目的	川崎市スポーツ推進計画の基本方針の一つである「スポーツを通して川崎の魅力・活力を楽しめるまち」に沿って、区内を拠点にして活躍している「かわさきスポーツパートナー」と連携したイベントを開催することで、地域間・世代間の交流機会の創出による、地域の活性化と元気と潤いのあるまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	・富士通レッドウェーブ、NECレッドロケッツ川崎、川崎フロンターレ、富士通カワサキレッドスピリッツと各種スポーツ教室等の開催します。 ・富士通フロンティアーズとアメフト普及啓発、小学生フラグフットボール大会を開催します。

実施結果（Do）									
上記取組内容に 対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	NECレッドロケッツ川崎バレーボール教室（1回、参加114名）、富士通レッドウェーブバスケットボール教室（1回、参加108名）、川崎フロンターレスタジアム社会科見学ツアー（1回、参加38名）、富士通カワサキレッドスピリッツバレーボールクリニック（1回、参加70名）の実施。富士通フロンティアーズによるアメフト展示ブース等の普及啓発及び中原区小学生フラッグフットボール大会＆体験会を同日開催（1回、全体参加者179名）。								
数値で把握することが可能 な取組	指標分類	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指 標	スポーツ教室等の開催	目標	5	5	6	回	
				実績	5	5	6		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価（Check）

事業を取り巻く社会環境の変化		若い世代を中心に新たに区内に居住される方が多い状況の中、区内に拠点を置くスポーツパートナーと連携し、引き続き地域でスポーツに親しむ機会を増やしていく必要があります。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施（直近） R元 年度 ■ 今後実施（R7年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		R元年度：事業が定着しつつあり、スポーツパートナーとの連携も強化されています。過去の参加者や関係者の意見を踏まえ、初心者・経験者コースを設けて実施する等、事業の魅力を高め、より高い効果を生み出すよう工夫しました。 R7年度：スポーツ実施率が低く、運動不足になりがちな子育て世代の方々が継続的にスポーツを楽しむことができるよう、親子スポーツ教室を開催します。		

評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	各教室等事業において、定員を大きく上回る申込があることから、地域でスポーツに親しむ機会に対するニーズは高いと考えます。		
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地元のスポーツチームへの愛着と地域の活性化に一定の成果があったと考えられます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	仕様の見直しや、他の事業との連携等を検討します。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	川崎市を拠点とするスポーツパートナーの活躍が著しく、貴重な地域資源であるため、今後も継続して活用していくべきであると考えます。その中で、地域交流の促進や地域の賑わい、魅力の促進につながるよう、より効果的な手法を検討していく必要があります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	40	05	中原区市民提案型事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		まちづくり推進部企画課			和田	63122

事業の概要										
事業の概要		区民との協働により、地域課題の解決を図ることを目的としています。公募により、区民から地域の課題解決の事業提案を受け、審査・選定を行い、川崎市が進める協働型事業のルールに基づき、選定された事業を区民との協働で実施します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域課題対応その他事業		
		—		—						
地域の課題と現状		地域課題の更なる複雑化による地域の担い手不足が見込まれる中では、持続可能な地域づくりに向けて、さまざまな主体と協働・連携する必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,583	2,320	2,583	2,018	2,583	1,783			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源		2,583	2,320	2,583	2,018	2,583	1,783			

計画 (Plan)	
事業の目的	区民との協働により、地域課題の解決を図ります。
今年度の事業の取組内容	・事業提案及び実施団体の募集 ・川崎市中原区市民提案型協働事業審査委員会による選考の実施 ・前年度実施事業の結果報告会の開催

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・ステップアップコースでは、子育て専門相談・出張ひろば、昔遊び指導者養成講座事業など計4事業を実施。 ・スタートコースでは、編み物を通じた仲間作り事業、中原を俳句フォト、卓球（サウンドテーブルテニス）を通じた仲間づくり事業など計7事業を実施。 ・令和5年度中原区市民提案型事業結果発表会及び交流会、令和6年度中原区市民提案型事業報告会を実施								
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1			目標					
					実績					
		2			目標					
					実績					
		3			目標					
					実績					
		4			目標					
					実績					

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化			地域課題の複雑化による地域の担い手不足が見込まれます。						
事業の見直し・改善内容			■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)						
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			制度見直しのため、令和7年度中原区市民提案型事業(ステップアップコース)の募集を休止。						
評価項目								評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか						a. 薄れていない b. 薄れている	a	
	評価の理由		地域課題の多様化・複雑化により、ニーズは薄れていないと考えられます。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか						a. 上がっている b. 上がっていない	a	
	評価の理由		社会環境の変化に伴い事業の見直しを随時行っており、成果も上がっていると考えられます。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。						a. 可能性はない b. 可能性はある	b	
	評価の理由		日常的な事業実施に係る相談対応や事業結果報告会を通じて、事業実施団体の意見、要望の把握に務め、手続きの見直し等事務改善を図ります。						

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	持続可能な地域づくりに向けて、さまざまな主体と協働・連携しながら事業を継続する必要があると考えられます。他の助成金との重複等があることから、事業の対象や要件、申請等、提案に係る手続きの見直しを行うとともに、より課題解決につながる事業を実施していくため、区内所管課と連携するなど、改善に取り組みます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	40	10	地域課題対応事業一般経費			
担 当			所 属 コー ド		所 属 名		担 当 者	連 絡 先	
			651650		まちづくり推進部企画課		和田	63122	

事業の概要

事業の概要		地域課題対応事業全般の執行に必要な事務用品の購入、複写品費、郵送などの経費支出を行い、円滑な事業推進を図ります。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域課題対応その他事業費		
		—		—					
地域の課題と現状		区内人口の増加や小杉地区を中心とした都市整備の進展をはじめ、社会状況が多様化する中、協働型事業の取組などを通じ、様々な地域の課題に対応していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	937	695	1,086	765	1,350	470		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	937	695	1,086	765	1,350	470		

計画 (Plan)

事業の目的	様々な地域課題対応事業の円滑な事業推進を図るようになります。
今年度の事業の取組内容	・区のシンボルマーク及び区の木・花のシンボルマーク入り封筒の作成 ・事務用品の購入及び複写品、郵送料等の経費支出

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等	・資料送付等に使用する区のシンボルマーク入りの封筒を作成し、各課に配布 ・各課で使用する事務用品の購入、複写品、郵送料への支出										
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1						目標				
							実績				
	2						目標				
							実績				
	3						目標				
							実績				
	4						目標				
							実績				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		区内人口の増加やまちの進展に伴い、様々な地域課題に対応していく必要があります。					
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載							
評価項目						評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	各事業を実施するにあたり、必要な経費であると考えられます。					
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各事業が円滑に執行していることから一定の成果があったと考えられます。					
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各事業の所管課と協議しながら、適切な経費の執行を進めていきます。					

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地域課題対応事業の執行において、事務用品等は必要な経費であることから引き続き事業を継続していきます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	40	20	市制100周年記念推進事業費(中原区)			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		中原区役所まちづくり推進部企画課			深谷	63121

事業の概要										
事業の概要		令和6年に迎える市制100周年を契機とした地元への愛着意識醸成などのため、地域住民等とともに、「なかはらアート作品」、「なかはらコアまつり」「市制100周年記念花壇」の取組を行います。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域課題対応その他事業費		
		—		—						
地域の課題と現状		令和6年に迎える市制100周年を機に、地域住民等とともに、地元への愛着意識の醸成など川崎市の次の100年に向けた取り組みを進める必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	0	0	3,100	2,992	8,450	7,981			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0				
		市債	0	0	0	0				
		その他特財	0	0	0	0				
		一般財源	0	0	3,100	2,992	8,450	7,981		

計画 (Plan)	
事業の目的	市制100周年に合わせアート作品創作や記念イベントを行うことで、プラントメッセージでもある多様性の啓発、地元への愛着醸成などを進めます。
今年度の事業の取組内容	市制100周年記念なかはらアート作品の創作、なかはらコアまつりの開催、市制100周年記念花壇の整備を行います。

実施結果（Do）								
上記取組内容に 対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	100個のキューブを積み上げて創る、アート作品「なかはらみらいキューブ100」をなかはらコアまつりで創作し、完成後は中原区内のイベント等で展示。 8月24日（土）に市制100周年記念「なかはらコアまつり」を開催し、約30,000人が来場した。 区民と協働で管理している区役所敷地内花壇等を市制100周年記念バージョンに装飾し、ライトアップや花壇を活用したSNSシェアキャンペーンを実施。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標 なかはらコアまつりの開催回数	目標	1	1		回	
			実績	1	1			
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
	4		目標					
			実績					

評価（Check）				
事業を取り巻く社会環境の変化		地域主体による区の魅力発信活動を推進し、区民の地元への愛着や関心を高めることを目的に事業を実施したことで、様々な主体が関わり、地域のつながりが醸成されています。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施（直近）	☒ 年度	☐ 今後実施（年度から）
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目				評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている
	評価の理由	多くの方に積極的に取組に参加・協力いただいたことから、市制100周年を契機に、地域主体による区の魅力発信活動を推進し、区民の地元への愛着や関心を高めるための事業を実施することへのニーズはあったものと考えます。		a
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない
	評価の理由	中原区の市制100周年記念事業に多くの方が参加いただいたことから、一定数の区民の地元への愛着意識の醸成を図ることができたのではないかと考えます。		a
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。			a. 可能性はない b. 可能性はある
	評価の理由	市制100周年記念事業としてR5、R6年度に実施した事業となります。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	当該事業は、市制100周年記念事業としてR5、R6年度に実施した事業であり、区役所と区民の皆様で一体となり多様な事業を実施することで、多くの区民の皆様に参加してもらうことができ、地域への愛着の醸成に一定の効果があったと考えられます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	45	05	中原区役所サービス向上事業			
担 当			所 属 コー ド		所 属 名		担 当 者	連 絡 先	
			635500		区民サービス部区民課		小栗	63237	

事業の概要

事業の概要		「区役所サービス向上指針」に基づき、区役所の利用者に対し、より質の高い区役所サービスを提供することを目的に、職員研修の実施、窓口環境の改善を進めます。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業費	
		—		—					
地域の課題と現状		暮らしやすい地域社会を築く協働のパートナーである市民との信頼関係を構築するため、区役所におけるサービスの向上に継続的に取り組んでいく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1698	1096	1,400	956	1,277	492		
	国庫支出金								
	市債								
財源内訳	その他特財								
	一般財源	1698	1066	1,400	956	1,277	492		

計画 (Plan)

事業の目的	「区役所サービス向上指針」に基づき、区役所が主体となり区役所サービスを向上することにより、市民とともに暮らしやすい地域社会を築く協働のパートナーとして市民と区役所の信頼関係を築き深めていくことを目指します。
今年度の事業の取組内容	区役所サービス向上方針・各課取組目標の設定に基づいたサービス向上に向けた取組。サービス向上のための職員向け研修の実施、窓口環境の改善。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	●区役所サービス向上方針・各課取組目標の設定に基づいたサービス向上に向けた取組及びホームページでの公表 ●サービス向上を目的とした職員向け研修を2回実施。なお、1回目の研修は急遽衆議院議員総選挙が実施されることとなったため、期日前投票と重なり規模を縮小せざるを得ませんでした。 ●業務早見表の改訂、区役所2階通路の分別化促進のためのゴミ箱の交換。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	サービス向上に資する研修	目標	60	60	60		人	
				実績	67	43	37			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
実績										

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		急速に進展する社会のデジタル化や環境問題の深刻化、少子高齢化の進行や人口減少社会への転換が見込まれる中、より質の高い区役所サービスを提供する必要があります。				
事業の見直し・改善内容		□ 実施 (直近) 年度 ■ 今後実施(令和7年度から)				
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		区役所サービス向上のために設置するサービス向上委員会の活動を持続的、より効率的かつ効果的に行うため、委員会の活動内容及び委員会を組織する委員の役割の見直しを行います。				
評価項目					評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由		区民課等では混雑期に長時間お待たせする状況にあり、引き続き区役所サービスの向上に取り組む必要があります。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由		職員自らが区役所の課題を自分事として捉え、企画・実施することで、サービス向上に取り組む意識が向上しています。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。				a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由		活動テーマの選定や研修での内部講師の活用など、より効率的な事業実施を目指す必要があります。			

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区役所利用者に対する区役所サービスを向上させるため、引き続き職員研修や職場環境の改善などの取組が必要と考えます。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	45	10	中原区役所混雑緩和・環境改善事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651600		まちづくり推進部総務課			杉浦	63113

事業の概要

事業の概要		武蔵小杉駅周辺の大規模な再開発等による人口増加に伴う行政需要の増加に対応した適切な区役所サービスの提供に向け、庁舎内の環境改善、敷地の有効活用の検討などの取組を推進します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	区役所サービス向上事業費			
		—		—						
地域の課題と現状		平成18年度から始まった武蔵小杉駅周辺の再開発により人口の流入が著しく、各窓口が混雑しています。特に区民課では年度末から5月の大型連休明け頃までの混雑が激しく、例年待ち時間が発生しています。今後も武蔵小杉駅を中心とした大型集合住宅の建設等により、人口の増加が見込まれています。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	2218	2172	1,752	1,118	121	4,521		
		国庫支出金	1820	1820						
		市債								
		その他特財								
		一般財源	398	352	1,752	1,118	121	4,521		

計画 (Plan)	
事業の目的	・人口増に伴う来庁者の増加に対応するため、窓口、待合スペース、執務スペース等庁舎内の環境を改善するとともに、区役所敷地を有効活用することで、区民サービスの向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	・混雑期の庁内職員応援体制の確保 ・窓口の増設や区民の待合スペースの確保・狭隘解消に向けた区役所庁舎レイアウト検討 ・区役所芝生広場の整備

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	・3月の区民課混雑期に合わせ、主に区民課経験者を対象とした庁内職員の応援体制を構築しました。 ・効率的な執務スペースの確保や、窓口配置、待合スペース確保のためレイアウト検討業務委託を行うとともに、レイアウト検討委員会を年2回、作業部会を年3回開催することで、狭隘解消に向けた検討を行いました。 ・区役所敷地内の芝生広場が区民の憩いの場となるよう、維持管理（芝刈り：年2回、目土：年1回）を行いました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1			目標						
				実績						
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		武蔵小杉駅周辺の再開発により、現在も人口の増加が続いています。			
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載					
評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	人口の増加が続いており、事業のニーズは高いと考えられます。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	芝生広場の整備を行った事で区民の方達の憩いの場等として日々たくさんの方に利用されています。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。			a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	レイアウト検討は進捗に合わせ委託・工事等の内容を精査し、効率的な執行を図ります。芝生管理はより良い状態を維持できるよう、引き続き委託内容の検討を行うことで改善につなげられる可能性はあります。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	・引き続き来庁者の増加が予想されることから、早期のレイアウト変更に向けて取り組みます。 ・引き続き区役所敷地内の芝生広場が区民の憩いの場となるよう、維持管理に努めます

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	50	05	区の新たな課題即応事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651650		まちづくり推進部企画課		永井	63122	

事業の概要									
事業の概要		年度途中に発生する新たな課題に対応し、課題解決に向けた取組を推進します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区の新たな課題対応事業	
		—		—					
地域の課題と現状		区内人口の増加や小杉地区を中心とした都市整備の進展をはじめ、社会状況が多様化する中、新たな課題に迅速に対応し、住み良いまちづくりを進めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	5000	1541	5,000	2,025	5,000	572		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	5000	1541	5,000	2,025	5,000	572		

計画 (Plan)	
事業の目的	年度途中に発生する新たな課題に適切かつ迅速に対応する事業を実施し、課題解決を図ります。
今年度の事業の取組内容	年度途中に発生する新たな課題に対応する事業を実施します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・富士通レッドウェーブのWリーグ優勝に伴う武蔵小杉駅装飾事業 ・パリ2024オリンピック競技大会出場選手激励懸垂幕作成等事業 ・風水害時一時避難場所の案内表示の購入								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標					
					実績					
	2				目標					
					実績					
	3				目標					
					実績					
	4				目標					
実績										

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化		区内の人口増加やまちの進展などの社会環境の変化に伴い、災害対応や新たに生じた地域課題に迅速かつ的確に対応していくことが求められています。							
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)							
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載									
評価項目									
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか							a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由		年度途中に発生した課題に迅速に対応するにあたり必要な事業であると考えられます。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか							a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由		課題に対し迅速に対応したことから一定の成果があったと考えられます。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。							a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由		直面した課題に対し、その都度必要とされる経費等を精査しながら進めています。						

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区内人口の増加やまちの進展などの社会環境の変化に伴い、災害対応や年度途中における新たな課題にも迅速に対応することが必要であり、今後もこれらの課題に優先順位をつけながら取り組んでいきます。